

小学校
教材・領域 理科
授業タイトル 「夜空を見よう」
対象学年 4 年生
実施場所 教室かコンピュータ室

プロジェクターで教科書の 36～37 ページを投影
(夏の大3角形が出ているページ)

指示 1 ノートに教科書 36～37 ページを見て「気がついたこと、分かったこと、思ったこと」を書きなさい。

子どもたちの発表

発問 1 写真の中で一番、明るい星はどれですか。

中国の神話（七夕について）

指示 2 七夕のお話知っている人。みんなに説明できる人。

説明 1 この「おりひめ星」は別の名前で「ベガ」といいます。

そして、このように線で結ぶと何かの形に見えませんか。

これかはギリシヤという国にも言い伝えからできました。

こんな言い伝えです。

説明 2 この星は「デネブ」と言います。星座は「はくちょう座。」

ギリシヤ神話では・・・。

説明 3 この星は何という星でしたか。彦星ですね。別の名前では「アルタイル」と言います。 星座は「わし座。」

ギリシヤ神話では・・・。自分で調べて下さいね。少しだけ・・・。

指示 3 教科書を読みます。

指示 4 ノートに「夏の大三角」を書きます。黒板をうつします。

指示 5 教科書 38 ページ。読みます。

説明 4 今日は特別に 7 月 7 日午後 9 時の和泉市の夜空を見せて上げましょう。

方角は・・・。

プロジェクターで「星ぞらはかせ」を立ち上げる。

設定 ①光害あり→なし

②星の名前

③星座の線

④星座の絵

⑤東の空を動かす。

⑥南の空を動かす。

⑦西の空を動かす。

発問 2 星の動きは何かの動きとにしていますか。

活用する I T パソコン、プロジェクター、スクリーン（電子黒板）、天体ソフト